



令和6年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和5年11月9日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名  
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員総務経理部長 (氏名)島田治彦 (TEL) (052)222-8202  
 四半期報告書提出予定日 令和5年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の業績(令和5年4月1日~令和5年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	1,717	75.6	116	—	111	—	92	—
5年3月期第2四半期	978	△2.8	△80	—	△86	—	△141	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	18.59	—
5年3月期第2四半期	△28.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第2四半期	6,107	4,485	73.4
5年3月期	6,316	4,384	69.4

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 4,485百万円 5年3月期 4,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,150	15.4	120	—	110	—	100	—	20.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※令和5年11月9日に「業績予想修正に関するお知らせ」を公表しました。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期2Q	4,984,500株	5年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	6年3月期2Q	5,194株	5年3月期	5,194株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期2Q	4,979,306株	5年3月期2Q	4,979,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費者物価は上昇するも、景気及び個人消費は緩やかに回復している動きがみられる状況で推移いたしました。

当社におきましては、徹底した感染拡大予防対策を実施し、お客様と公演関係者の安心・安全を最優先に考え、安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、注意深く上演しております。

今後につきましても、感染拡大の防止策を徹底し、社会経済活動が段階的に回復する中、公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和5年4月から9月までに公演を21種類、上演日数として109日間、上演回数として163回（前年同期111回）の実施を致しました。

#### <当第2四半期累計期間の上演実施作品>

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
陽春花形歌舞伎	4月1日～22日	22	40
ミュージカル『青春 POP ROCK ルーザーヴィル』	4月26日～30日	5	8
『ザ・ミュージック・マン』	5月6日～7日	2	3
純烈 御園座公演 スーパー・ササダンゴ・シアター	5月20日～21日	2	4
坂東玉三郎コンサート『あなたへ歌を』	5月27日～28日	2	2
ミュージカル『エリザベス・アーデンVSヘレナ・ルビンスタイン-WARPAINT-』	6月2日～4日	3	5
ミュージカル『She Loves Me』	6月8日～10日	3	5
少年忍者『俺たちのBANG!!!～大劇場を占拠せよ～』	6月13日～17日	5	8
『ザ・ニュースペーパー』	6月18日	1	1
御園座6月公演 松平健 辰巳ゆうと 桂米團治	6月21日～26日	6	9
山内恵介コンサート2023in御園座	7月1日～2日	2	3
鶴瓶御園座独演会	7月8日～9日	2	2
よしもと祭りだぜい!全11公演	7月11日～17日	7	11
夏だぜ!!!吉本新喜劇&バラエティ公演	7月18日～23日	6	11
石川さゆり2023御園座スペシャル	7月25日～30日	6	6
ブロードウェイ・ミュージカル『ピーターパン』	8月5日～6日	2	3
舞台『千と千尋の神隠し』	8月13日～26日	14	18
ブロードウェイ・ミュージカル『ビートルジュース』	9月2日～8日	7	8
ザ・ニュースペーパー特別公演	9月10日	1	1
大地真央主演『最高のオバハン中島ハルコ』	9月13日～20日	8	12
舟木一夫御園座コンサート2023	9月22日～24日	3	3
合計		109	163

(上演日数には休演日も含みます)

〈公演中止となった当第2四半期累計期間の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
該当なし		—	—
合計		—	—

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、17億1千7百万円（前年同期は9億7千8百万円）となりました。

売上高は増加し、利益面では、営業利益1億1千6百万円（前年同期は営業損失8千万円）、経常利益1億1千1百万円（前年同期は経常損失8千6百万円）、四半期純利益9千2百万円（前年同期は四半期純損失1億4千1百万円）となりました。

なお、当第2四半期累計期間に予定していた公演をすべて順調に上演できましたので、公演中止に伴う特別損失はございません。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産・負債及び純資産の状況

#### （資産の部）

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、10億7千1百万円となり、前事業年度末に比べ1億7百万円の減少となりました。この主な要因は、売掛金が4千8百万円減少、未収入金が4千8百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、50億3千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億1百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が6千万円、機械及び装置が4千5百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、61億7百万円となり、前事業年度末に比べ2億9百万円の減少となりました。

#### （負債の部）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、6億5千5百万円となり、前事業年度末に比べ2億5百万円の減少となりました。この主な要因は、未払法人税等が3千2百万円増加、前受金が1千1百万円増加、買掛金が2億4千9百万円減少、未払金が1千8百万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、9億6千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億4百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が1億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、16億2千2百万円となり、前事業年度末に比べ3億9百万円の減少となりました。

#### （純資産の部）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、44億8千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が9千2百万円増加したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて0百万円増加し、8億2千4百万円となりました。

#### 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億2千5百万円の収入（前年同期は3億1千万円の収入）となりました。これは、主に売上債権の増減額による収入4千8百万円、仕入債務の増減額による支出2億4千9百万円、補助金の受取額5千万円によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の支出(前年同期は1百万円の支出)となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億1千9百万円の支出(前年同期は1億1千9百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億1千4百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点において令和5年5月10日付「令和5年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想からを修正しております。詳細につきましては、令和5年11月9日付「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和5年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	823,987	824,887
売掛金	257,672	209,077
貯蔵品	1,100	1,502
未収入金	50,067	2,031
その他	45,995	34,050
流動資産合計	1,178,823	1,071,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,334,780	2,274,036
機械及び装置（純額）	539,020	493,525
土地	2,124,656	2,124,656
その他	77,418	75,290
有形固定資産合計	5,075,875	4,967,509
無形固定資産		
無形固定資産	12,591	9,146
投資その他の資産		
投資有価証券	43,399	51,460
その他	6,427	8,249
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	49,087	58,970
固定資産合計	5,137,554	5,035,626
資産合計	6,316,377	6,107,175

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和5年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	412,480	163,023
1年内返済予定の長期借入金	224,181	209,187
未払金	24,386	42,601
未払法人税等	—	32,051
前受金	156,253	167,301
その他	43,181	41,162
流動負債合計	860,483	655,326
固定負債		
長期借入金	800,000	700,000
繰延税金負債	257,484	257,200
退職給付引当金	4,962	5,014
その他	8,927	4,482
固定負債合計	1,071,374	966,696
負債合計	1,931,858	1,622,022
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	2,058	94,630
自己株式	△39,817	△39,817
株主資本合計	4,371,800	4,464,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,718	20,780
評価・換算差額等合計	12,718	20,780
純資産合計	4,384,519	4,485,152
負債純資産合計	6,316,377	6,107,175

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	978,407	1,717,921
売上原価	750,810	1,278,689
売上総利益	227,597	439,231
販売費及び一般管理費	307,692	322,569
営業利益又は営業損失(△)	△80,094	116,662
営業外収益		
受取配当金	1,063	1,430
その他	579	961
営業外収益合計	1,643	2,391
営業外費用		
支払利息	7,013	5,698
その他	914	1,735
営業外費用合計	7,927	7,433
経常利益又は経常損失(△)	△86,379	111,620
特別損失		
公演中止損失	42,256	-
臨時休業等による損失	19,199	-
特別損失合計	61,455	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△147,835	111,620
法人税、住民税及び事業税	488	19,332
法人税等調整額	△7,121	△284
法人税等合計	△6,632	19,048
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△141,202	92,571

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△147,835	111,620
減価償却費	125,477	123,174
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	680	52
受取利息及び受取配当金	△1,064	△1,431
支払利息	7,013	5,698
公演中止損失	42,256	-
臨時休業等による損失	19,199	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,341	48,595
未収入金の増減額 (△は増加)	△4,984	△1,964
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,480	△401
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,594	△249,457
未払又は未収消費税等の増減額	10,745	△99
前受金の増減額 (△は減少)	79,723	11,047
その他	5,851	3,431
小計	104,798	50,265
利息及び配当金の受取額	1,064	1,431
利息の支払額	△7,016	△5,672
公演中止による支出	△42,090	-
臨時休業等による支出	△6,637	-
補助金の受取額	320,457	50,000
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△60,557	29,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,018	125,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△670	△5,000
その他	△555	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,225	△4,926
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△114,994	△114,994
リース債務の返済による支出	△4,315	△4,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,309	△119,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189,483	900
現金及び現金同等物の期首残高	438,007	823,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	627,491	824,887

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類相当から5類に変更になり、社会経済活動は正常化に向かっております。こうした中、当社は感染対策の徹底を図り、当第2四半期累計期間において予定していた公演をすべて順調に上演することが出来ました。当第2四半期累計期間の売上高は17億1千7百万円と、前年同期と比較して大幅に増加し、多種多様な公演実施やコスト削減への努力により営業損益、経常損益、四半期純利益についてもすべて黒字転換いたしました。また、当第2四半期会計期間末の現金及び預金の残高に加え、資金計画に基づき取引金融機関と協議を行い、適切に運転資金を確保する計画を実行しております。

通期としても継続した営業損失が発生しない見通しとなり、当第2四半期累計期間末日において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断し、前事業年度の有価証券報告書に記載した「第2 事業の状況 3 事業等のリスク ((3)継続企業の前提に関する重要事象等)」は消滅しております。